

主役は職場や社会を  
変えたいあなた  
労働組合でならできる



参加者がつくる70の分科会が決定！  
「対話と学びあい」で  
実践交流する3日間

変化を起こしている仲間の成功事例に学び、あ  
なたの職場と社会を変えるヒントや勇気が湧いてく  
る集会をみんなの力でつくりましょう。

ビジョンセンター東京京橋・他  
東京駅八重洲南口徒歩5分

参加申込締め切り9月30日(火)  
申込方法は4面

# レバカレ2025 in TOKYO

## 10月11日SAT. ▶ 13日MON.

### 10月11日(土)

13:00-14:00 全体会Ⅰ  
14:30-16:00 分科会A  
16:30-18:00 分科会B

### 10月12日(日)

9:00-10:30 分科会C 13:30-15:00 分科会D  
11:00-12:30 全体会Ⅱ 15:30-17:00 分科会E  
昼食休憩 18:00-20:00 夕食交流会  
(要申込)

### 10月13日(月)

10:00-11:30 全体会Ⅲ

東京でハイタッチ！ わたしも参加します



1人の役員が多くを担うスタイルから、重  
荷を分かち合い全員参加型の組合へ。  
分科会では、楽しく仲間を増やす対話練習  
を体験して、持ち帰られる分科会にして明  
日から一歩ふみ出そうと思えるレバカレに  
したいです。

愛知県医労連  
矢野 彩子さん



レバカレの成功に向けて、「非正規公務員組織化分科会」の  
知恵出し会に参加しています。この会では、「いい話だったけ  
ど、自分のところでは無理かも…」は NG。参加者を主役に  
した企画作りに討論もヒートアップ！ 失敗も大歓迎です。誰  
かが失敗の中に埋もれている光を見つけてくれるからです。  
それがレバカレの魅力です。

たかまつ学童保育ユニオン  
藤井 康子さん



気になるテーマをきっかけに、新しい視点や仲  
間に会い、これから一緒にやろうと思える関  
係に。「知る」だけじゃない、「出会う」「つな  
がる」「動き出す」レバカレから広がる、つながりと  
未来を大切にしたい3日間です。

さっぽろ青年ユニオン  
岩崎 唯さん



ワークショップ「全員でストやってみた」を準備し  
ています。ストだけでなく、労働組合について、  
多くのみなさんとお話して学びたいと今から楽  
しみにしています。若い人を誘って参加するた  
め声をかけまくります！

おおさかパルコープ労組  
みつくり  
箕作 勝則さん

# 2025 みんなでつくるレバカレ70の分科会

2025/7/31現在。各分科会の最新情報や詳しい内容などはホームページをチェックしてね



私も参加します！

佐賀からは、県単産・労働組合運動を担ってもらう次の世代を中心に7名の参加をめざしています。9月に参加者激励会も行います。



佐賀県労連  
稲富 公一さん

|                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月11日(土)                                                                                                                                                                     | 18仕事と健康、どちらが大切ですか～ローアン活動って何？（1回目）<br>あなたはこれまで「この職場は自分の心や身体にとってヤバいんじゃないか」と思ったことはありますか？ その原因は何なのか、どうすれば「ヤバさ」との背中合わせから逃れられるのか、一緒に考えてみましょう。                                             | 11:00～12:30 全体会Ⅱ 労働運動の未来は誰がつくるか                                                                                                                                             |
| 13:00～14:00 全体会Ⅰ レバカレってなに？あなたは何を見たいか                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                     | 13:30～15:00 分科会D                                                                                                                                                            |
| 14:30～16:00 分科会A                                                                                                                                                              | 19要求を練り上げて勝ちとるまでのプロセスとたのしさ ※詳細調整中                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                             |
| ①排外主義に対して私たちはどう考えるか<br>参議院選で排外主義が支持を集めました。その背景には社会の閉塞感による生きづらさや生活苦からの不満があります。私たちはどう考え、どうすればいいのか。ヒントは「知ること」にあります。技能実習生をはじめ移住労働者の相談事例を紹介するとともに、ディスカッションします。                     | 20スシローストライキの表と裏<br>会社側の「スト破り」で大きく世間を騒がせた回転寿司ユニオンの「#スシローストライキ」。ストライキに至るまでの経緯やスト入中の出来事など、その裏側も交えて包み隠さずトークします！                                                                         | ⑦組織拡大強化<br>組織拡大について交流します。愛知県高等学校教職員組合の経験や各自の組合拡大を振り返り、声をかけて加入してくれた組合員がその後のような活動をしているか。組合拡大の経験や苦労を交流し、やり取りを深めていく分科会を予定しています。                                                 |
| 東アジアレイバーフェスとの運動企画Ⅰ<br>②大衆教育と労働運動<br>労働者・組合員が、対話と学びあいを通じて、労働運動を主導する「組織化モデル」に転換していくために、労働者教育、労働者メディアはどのような役割を果たせるのかを考えます。                                                       | 【手法】から考える労働運動②<br>②心に届くスピーチとは？ストーリーの持つ力を体験<br>大勢の人の心に届くスピーチには秘訣があります。「価値観」を伝えることで感情的理解を促す【パブリック・ナラティブ】の手法を学び、実際にやってみてストーリーの持つ力を実感するミニワークです。                                         | ③8ローカルユニオン・個人加盟ユニオンの未来<br>ローカルユニオンは一人でも加入できる組合として発展してきました。現状と課題、これからのユニオンの課題をさぐりましょう。ローカルユニオンのパンフ等ご持参をお願いします。                                                               |
| ③自分の言葉で要求を語ろう！あなたの要求からはじまる模擬団体交渉<br>小グループに分かれて参加者のリアルな要求から始まる模擬団交を行います。要求討議ではワールドカフェの手法を用いて、要求を可視化します。その後、模擬団体交渉に臨みます。経営者役は全国一般の役員が務めます。（分科会A・B連続で行います）                       | 【手法】から考える労働運動③<br>②【動員】ではない関係づくり関係構築の手法を学ぶ<br>相手と一緒に活動する関係を作るためには、自分も相手もどんな価値観を持っているかがカギになります。お互いに価値観を探りあい「動員」ではない関係づくりについて実践を通して学びます。                                              | ④9賃金・労働条件を決めているのは誰だ?!～決定権を持つ親会社やファンドに団交応諾を<br>親会社やホールディングスが経営指導料や賃借料を先取りした後で職場の労働条件を決める仕組みが蔓延しています。昭和コム労組が使用者概念の拡大で団交権をチカラにたたかっています。背景にある取引先企業・親会社・ファンド経営者に団交に応じさせる方法を学びます。 |
| ④若手活動家をどう作るか？<br>どこかの労組でも次世代の担い手不足の声が聞かれます。元気に活躍する若手がどのように活動家になったか語り、上の世代が何をしていいたかを明らかにします。「目の前のことで手一杯」では、組織の存続はありません。                                                        | ②3使ってみよう！労働委員会<br>「一方的に労働条件を引き下げられた」「まともに団体交渉に応じない」…職場の「困った！」に労働委員会って使えるの？労働者委員や弁護士が実際の事例を交えてトーク。素朴な疑問や労働委員会の課題を含めてみんなで交流。役立つ労働委員会にするのは私たち自身！                                       | メディア講座Ⅱ<br>④0効果的な記者会見の方法<br>「記者の質問に上手く答えられなかった」「取材されたのに記事にならなかった」という経験はありませんか？記者会見で喋りすぎせず、少なくとも的確に答えて報道されるコツを現役新聞記者から学ぶ実践型ワークショップです。                                        |
| メディア講座Ⅰ<br>⑤「SNSの活用で組合員が増えるって本当ですか？」<br>SNSを活用しながら、愛知県労連は3年連続で組合員数過去最高を更新。首都圏青年ユニオンは業種・職種別ユニオンを活性化。国公労連は職員削減を押し返しています。この座談会では全労連・小畑前議長も参加して、労働組合のSNS活用の最新情報を学びあいます。           | 10月12日(日)<br>9:00～10:30 分科会C                                                                                                                                                        | ④1成果主義・査定、ジョブ型人事とどうたたかうか？<br>「ジョブ型」などと称した成果主義や査定拡大など賃金・人事制度改悪がひろがっています。学習会のあと、みんなで話し合います。成果主義賃金や査定拡大などの具体的攻撃を受けている職場からぜひご参加ください。（分科会D・E連続で行います）                             |
| ⑥解雇・雇止め・労働条件切り下げとたたかう<br>解雇・雇止めや賃下げなど労働条件切り下げとどうたたかえばいいの、学習会のあと、参加者からの質問や意見、経験交流を行います。解雇・雇止めや賃下げなどの具体的攻撃を受けているところなど、ぜひご参加ください。（分科会A・B連続で行います）                                 | ②4労働基本権制約に抗う！「全国一斉定時アクション！」<br>職場の声・要求を届けるには、現場の当事者からの発信が重要です。全教は各学校職場から声をあげる「全国一斉定時アクション」に取り組みしました。長時間過密労働の学校職場で定時に退勤するのはストライキと同じこと。労働基本権が制約された公務職場で何をどう取り組むのか考えます。                | ④2仕事と健康、どちらが大切ですか～ローアン活動って何？（2回目）<br>あなたはこれまで「この職場は自分の心や身体にとってヤバいんじゃないか」と思ったことはありますか？ その原因は何なのか、どうすれば「ヤバさ」との背中合わせから逃れられるのか、一緒に考えてみましょう。                                     |
| ⑦生理～より活動しやすい期間にするために<br>生理の貧困問題を女性活動家を中心に取り組むさい、世間の反発も強く、労働組合内でもわかっているようでわかってもらえないことも。それぞれのつらさを共有する機会にします。                                                                    | ②5現場発！こうすればできる公務非正規のなまづくり～組織化の処方箋～<br>ほとんどが女性！ほとんどが未婚！法にも制度にも守られない公務非正規の実態！その「誇り」と怒り！に労働組合はどう応えるのか！なまづくりの処方箋を、現場発のリアルからひも解き、当事者・専門家・労組によるトークセッション、「対話と学びあい」から導き出します。（分科会C・D連続で行います） | ④3組織を編む～組織の内部強化を求めて～<br>拡大や賃上げ等を獲得してきた発表者にとって、幹部請負の組織体制を脱することが次の課題です。これまでの組織づくりの経験や社会運動、経営学の知見を元に、どのように「組織」を作れるのか一緒に探究していきます。                                               |
| ⑧ココロを近づける日々のコミュニケーションと対話<br>「自分とともに悩み、考え、乗り越える仲間がほしい」と思ったことはありませんか。労働組合が勝ち取った様々な権利があるのに、仲間に伝えられているだろうか。労働組合で頑張れる「きっかけ」を振り返ることや、組合活動に自ら自信を持つことは大事なことです。                        | ②6性別役割分業から脱却し一人ひとりが個人として尊重される社会へ<br>生協労連は、税・社会保障システムを世帯単位から個人単位にすることで個人の尊厳が尊重され、自立して生きられる社会の実現を提案しています。課税最低限度引き上げ、年金の適用拡大がすすんでいます。これからの働き方、税や社会保障のありかたを考えます。                        | ④4平和って当たり前じゃないって話！<br>全労連青年部主催ユニアカリ沖縄ピースツアー報告と平和の取り組みを紹介し、交流します。                                                                                                            |
| ⑨この格差おかしくないか？ 正規と非正規の格差を見える化しよう<br>全労連非正規センターが作成した「正規と非正規の格差一覧表」をもとに、職場の格差が合理的かを検証しながら、格差解消に向けた取り組みを交流します。                                                                    | ②7私たちの賃金はなぜ上がらないか～働いた価値を再配分しよう<br>賃金を人権として捉えたい。「全国一律最賃制」による底上げと、公契約法制定による中間・熟練層の引き上げが求められます。日本の労働者・国民を苦しめた新自由主義政策をたどりながら、その打開策としての「全国一律最賃制」と中小企業政策について討議します。                        | ④5チーム0% 地域手当を廃止し、公的労働者の賃上げで地域経済の活性化を<br>給料表全体があわせて7%も引き下げられるなど、給与構造改革以来の公務員賃金政策が地域経済や地域の労働者に及ぼした影響を考え、医療・介護・福祉などの分野を含めた公的労働者の賃上げで、経済の地域間格差や地域経済の活性化をめざす方策を語り合います。           |
| ⑩医療介護労働者でもできた初めての1日ストライキ<br>「手当てではなくベースアップ」と意思統一し、70名を指名した1日ストライキに取り組んだ群馬県初の1日ストライキで経験したことを中心に「ストライキをすれば患者・利用者に迷惑か」という思いを乗り越え、なぜ結集できたのか話し合います。                                | ②8非正規春闘<br>物価高騰下、非正規労働者の生活圧迫が深刻化するなか、コロナ禍のネットワークを土台に結成した非正規春闘。既存の春闘とは異なるたたかい方、打ち出し方で注目されているが、各組合がどのように位置づけて加わっているか、どう発展させるか、話し合います。                                                 | 【手法】から考える労働運動⑥<br>④6チーム作りの実践から学ぶ～効果的なチームの実践を知る<br>一部役員だけが頑張る組織ではなく、一人ひとりが一つの目的に向かって主体性を発揮するチームの実践報告を紹介します。事例を基に、効果的なチーム作りの秘訣を学び、考え合います。                                     |
| 【手法】から考える労働運動①<br>⑪リアル！コーチング道場 コーチングの手法を学んでチャレンジを引き出そう<br>相談にのっていると、いつの間にか自分が「問題解決講師人」になっていたり、ついついやってあげていませんか？ 相手が自分で考えて行動できるように、主体性を引き出すための手法を学び、実際にやってみます。                  | ②9わくわく講座テキスト読書会<br>わくわく講座テキストを使って読書会を行います。各組織でわくわく講座学習会をどのようにに行っているか交流します。                                                                                                          | 【手法】から考える労働運動⑦<br>④7同志がいらないとどうしようもない<br>ともに立ち上がる同志と活動力をあわせてパワーを作り出し、タイムラインに落とし込む手法を体験します。「札幌近郊法律事務所職員労働組合」結成までを参考事例として紹介します。                                                |
| ⑫ハラスメントをなくす「性的同意と第三者介入ワークショップ」<br>ハラスメントをなくすには、個人の加害行動を抑止することと加害行動を容認しない社会規範をつくる必要があります。第三者介入は事態の悪化を防ぎ、「加害行動を許さない」というメッセージの発信につながります。全労連のキットを使って運営できるように練習します。(分科会A・B連続で行います) | ③0「子どもたちにもう1人保育士を」～労働組合が社会を動かすヒント<br>愛知発の保育士配置基準改善の取り組みは全国に広がり、76年ぶりに4.5歳児の保育士配置基準を引き上げさせました。各地方でのその立ち上がり、実は簡単じゃなかった表と裏、泣き笑い、なぜ労働組合が取り組むのか当事者がお話しします。今「変えたい」ことがあるみなさん、みんなで考え合いましょう！ | 【手法】から考える労働運動⑧(番外編)<br>④8労働組合の中の家父長制を考える<br>「経験がいらないから黙っている」「お前の話は聞く必要がない」など否定的な発言をされたことはありませんか？労働組合活動のなかの家父長制の有害性を明らかにし、誰もが対等・平等に参加できる活動には何が必要か、参加者とともに考えます。               |
| ⑬措置要求で環境改善<br>群馬県太田市の学校では冬場のエアコン使用が厳しく制限され、震えながら授業を行っていました。しかし、市教委は交渉でいくら訴えても「適切である」という不誠実な回答を繰り返しました。そこで措置要求を行い、粘り強く抵抗することによって行政側の態度を改めさせた実践を報告します。                          | ③1職場に同性パートナーシップ制度をつくるための活動交流<br>同性パートナーシップ制度に対応した就業規則の改訂方法、同性パートナーシップを求める組合の取り組み事例、同性パートナーシップ制度を持つ自治体の職員就業規則の対応など自由に語る90分。みなさんからの当日持ち込みテーマも大歓迎です。                                   | ④9運動の土台となる学習・調査・研究<br>労働問題の学習・調査・研究は、単に知識を得るにとどまらず、組合が現場の実態に即した対応を取り、社会的信頼を高め、将来に備えるための「運動の土台づくり」です。皆さんとその意義について深めます。                                                       |
| 16:30～18:00 分科会B                                                                                                                                                              | ③2労働組合って古い？と思っている自分が今ここにいる理由<br>「なぜ労働組合に入ったのか」「なぜ労働組合の集会に参加しているのか」「なぜ労働組合の役員をやっているのか」などを共有・意見交換しましょう。                                                                               | 対話と学びあいスクールⅡ<br>⑤0組織化のための職場分析<br>一見無秩序に見える職場でも組織化はゼロから始まるわけではありません。職場に存在するさまざまなグループを分析することが労働組合の組織化や強化につながります。                                                              |
| ⑭ぼそぼそ声の組合民主主義<br>小さな声では変わらないと思っていませんか？小さな声でつくる組合活動、変化を起こすための対話＝ぼそぼそ。パナリスが日常活動での成功体験を報告し、民主主義とは何か考え、組合民主主義において大切なことを話し合います。コミュニケーションスキルや会議の持ち方についても経験を持ち寄りましょう。                | ③3会議でシ～ンとするチームを心理的安全性で変える！<br>シン～ンする組合の会議に悩んでいますか。チーム力を向上させるカギになる心理的安全性の講義のあと、「一人ひとりの思いを出しあえる分会運営とは」と模索しながらチャレンジしてきた事例報告を共有します。少人数のグループ交流で、感想や気づいたことなどを深めます。                        | ⑤1ストに至った単組が躊躇・不安にどう直面し、乗り越えるか？<br>25春闘でストに挑戦した、生協労連に集う三つの労働組合。なぜストを手にしたたかおうと思ったのか。執行部内部や職場ではどんな懸念や不安があったか。覚悟を伴う「真の合意」はどうやって作れたのか。26春闘に向けて上部団体に求めるサポートはなにか。みんなで考える場にします。     |
| ⑮10の問いからさぐる〈国家公務員のリアル〉<br>「高給とり？」「残業ばかり？」「エリート官僚？」「労働組合つくれる？」「協約結べないのに交渉？」……国家公務員についてよく聞かれる10の問いを入口に、その実態と役割について対話する分科会です。                                                    | 【手法】から考える労働運動④<br>③4当事者をつくる戦略（要求と運動）<br>当事者が中心となって要求（戦略的ゴール）をつくる手法を体験します。「NO！電話に給料出んわ」キャンペーンの実践を参考事例として紹介します。                                                                       | 東アジアレイバーフェス 運動企画Ⅱ<br>⑥0ロサンゼルス教員組合のたたかいに学ぶ<br>学校閉鎖反対・教員の処遇改善・クラスサイズの適正化・より良い公共のための学校を求めてストライキに立ち上がったロサンゼルス教員組合。元交渉担当チーム責任者のアーリーン・イノウエさんになぜ教員たちは「違法」ストライキをたたかったのか話を聞きます。      |
| ⑯労働者教育、労働組合で学ぶものの方見方・考え方（ニシメ塾）<br>勤労者通信大学を活用した学習会「ニシメ塾」を紹介し、労働組合の組織強化に繋げる学習の取り組みを交流します。雑誌「学習の友」も紹介します。                                                                        | 【手法】から考える労働運動⑤<br>③5参加型会議の作り方＆オンライン会議の活用<br>「意見を聞いてもみんな黙って」「聞くばかりの会議で疲れる」そんな悩みはありませんか？グループワークを通じて、参加者が楽しく参加でき、やる気を引き出す会議（オンライン含む）の運営方法について学び、考え合います。                                | ⑤2食欲と学習と交流はサンコイチ<br>岡山医療生協労組は学習に食事はつきものとしています。腹が減ってはなんとやら・・・。人間関係も一緒に、美味しいものを食べて美味しいねと感じること、そして共有することで心から安心できる場所になると思います。会議も空腹ではいい案は出ません。                                   |
| ⑰<実録>地方組織での産別の作り方<br>富山・岐阜・石川・福井では、ケア労働者からの労働相談に対応しながら、地域のネットワークを生かし、対話の場づくりに取り組んできました。地方・地域労連と地方産別が一体となり、伴走することで労働組合の結成など組織拡大の成果やそこで直面した課題について交流します。                         | 対話と学びあいスクールⅠ<br>③6無関心を乗り越える<br>活動に参加してもらおうと同僚に声をかけて、上手いかな。壁にぶつかったことはありませんか？「みんな、労働組合に関心が無い」状態を「みんなが参加している」に変える手法を学びましょう。                                                            | 15:30～17:00 分科会E                                                                                                                                                            |
|                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                     | ⑤3やってみよう！加入につながる対話トレーニング<br>「対話」を身体にしみ込ませ、自分のものにするには「練習」が欠かせません。組合の魅力をどう伝え、安心して加入してもらうか？3年連続過去最高の組合員数を更新した愛知県労連で実践しているトレーニングを体験してみましょう。                                     |

⑤5労働相談活動をどう拡げるか  
全国で展開している労働相談活動。最近はハラスメント関連の相談も増え、複雑化していると言われています。多くの人が労働相談できるようにするには？経験を学びあいましょう。

⑤6人権としての賃金・労働時間～最低賃金と職場の賃上げ  
多くの職場や業界では、基本的人権が守られておらず、労働組合攻撃やハラスメントが起きています。就業規則で時間内の組合活動やビブ配布が制限されたり、携帯電話の持ち込みが禁じられたり、世界では許されない人権侵害の状況が当たり前になっています。人権侵害とも言える低すぎる最低賃金、全国どこで生活しても最低限人間らしく生きてゆける賃金として最賃制度のあり方を考えます。

⑤7全員対象のストライキをやってみて  
低賃金、一般雇用の従業員との不合理な待遇格差、合理的配慮の不足。相談急増を背景に今年3月に首都圏青年ユニオン内に結成された障害者雇用分会。障害者雇用のたたかいと成果、課題についてお話しします。

⑤8障がいのある労働者と労働組合  
低賃金、一般雇用の従業員との不合理な待遇格差、合理的配慮の不足。相談急増を背景に今年3月に首都圏青年ユニオン内に結成された障害者雇用分会。障害者雇用のたたかいと成果、課題についてお話しします。

⑤9ストを構える非正規公務員  
団体行動権（ストライキ権）は憲法28条で認められた権利のはずだが、2020年4月を境に非正規公務員からその権利が剥奪された。なぜ剥奪されたのか。今後どのようにたたかえば良いのか。そんな中、ストを構えて雇止め撤回を勝ち取った非正規公務員のたたかいに学びましょう。

⑥0青年部がない中で青年の運動をどうつくるか  
石川県労連には、青年部がありません。ブロックサマーセミナーの取り組み、青年を集めるためのDJパーティー企画など、全労連青年部の沖縄平和ツアーにもつなげました。青年を組織するための苦労を共有できればと思います。

⑥1戦後80年を考える「猫は生きている」上映会  
「猫は生きている」（75年公開 監督:島田開、原作:早乙女勝元・田島征三 東京大空襲をテーマとした人形劇）の映画鑑賞を通じて戦争の悲惨さと平和の大切さを学びあう企画です。

⑥2仲間を誘う対話のレシピ 声かけの難関を乗り越えよう  
職場の仲間を組合加入や組合のイベントに誘いたくても、声をかけるのを躊躇していませんか？「断られたら」「うるさく思われたら」…そんな不安を乗り越え、声かけに踏み出す意識づくりを学びます。「対話をすすめる5つのレシピ」をもとにしたワークショップです。

【手法】から考える労働運動⑧  
⑥3一人一人の関心を持ち寄るミーティング  
テーマに沿って参加者が議題を出し合い、自分の関心に応じて自由に議論に参加できる会議手法、オープン・スペース・テクノロジー。大阪府職労の定期大会での活用事例を参考に、実際に参加者みんなで体験します。

⑥4社会保障運動の沼にハマったひとにきいてみた！～労働組合と社会保障って、カンケイあるの？～  
「労働組合にとって、賃金闘争とあわせて大切な社会保障運動」と言われても、実感を持てなかった人が、あるきっかけで貧困や教育などの社会保障制度の改善を求める運動に。「ハマったきっかけ」と「沼から見えること」を聞いたあと、少人数のグループに分かれて交流します。

⑥5組合と共済が一体！カフェ&集いあいでつながりづくり  
組合と共済が一体となって、職場を基礎に人間関係のつながりをつくるとりくみや、少人数でも集まって語り合う取り組みを交流し、その意義を確かめあいましょう。

対話と学びあいスクールⅢ  
⑥6課題をキャンペーンにする  
オルガナイザーの仕事は、職場にあふれているいらいだちや不満を組織化に繋げることです。対話で聞き出した不満を解決するキャンペーンを労働者と一緒に作る方法を、ワークショップを通じて学びます。

⑥7学生から見る労使対等と賃金要求の仕方  
法律では賃金等の決定は労使対等によるとされますが、現実には使用者側の立場が強いことがしばしばだと思います。それを学生がどう思っているかをお話するとともに、最低賃金等に関する要求の仕方を皆さんと考えたいと思います。

東アジアレイバーフェスとの運動企画Ⅲ  
⑥8東アジアの労働組合活動家との交流  
10月3日から11日まで上智大学で開催される東アジアレイバーフェスに参加した東アジアの労働組合の活動家のみさんと交流します。

⑥9最賃運動のモヤモヤ～署名の先を考える  
最賃運動は多くの成果をもたらす一方で、現場には「署名にどれだけの意味があるの？」「当事者不在の運動になっている」「最賃に力を入れても組織拡大にはつながらない」等のモヤモヤがあることも事実。そんなモヤモヤを共有して、これからの最賃運動を一緒に模索してみませんか？

⑦026春闘ネーミングを考えよう！  
15年の「いちご春闘」に始まり、25年の「ニコニコ春闘」まで、大阪国公では毎年、春闘スローガンの愛称をでねり出してきました。26春闘ではキャラクターを作り、動画、漫画、歌など五感に訴える楽しい春闘をみんなで作りますか？イラスト等の特技をお持ちの方々の参加大歓迎です。

18:00～20:00 夕食交流会

10月13日(月・祝)

10:00～11:30 全体会Ⅲ 新たな運動のスタート この学びをみんなのものに

## 集会参加申込

参加費  
(全労連組合員)

15,000円

夕食交流会

5,000円

\*趣旨賛同者なら誰でも参加可のオープン集会

\*全労連組合員以外の参加費は20,000円

\*宿泊ホテルのあっせんあり 1泊15,000円

宿泊ホテルは以下のいずれかになります。ご指定は承れません。

・R&amp;Bホテル大塚駅北口 ・R&amp;Bホテル上野広小路

・R&amp;Bホテル東京東陽町 ・R&amp;Bホテル東日本橋

## 注意事項

(1)1日のみの参加でも参加費は変わりません

(2)参加募集と宿泊あっせんは勤労者レクリエーション協会を通しておこないます。

## 申込方法

右のQRコードまたは全労連HPレバカレ特設サイトから、受付フォームに必要事項を記入し送信してください。勤労者レクリエーション協会より、今後の手続きご案内、予約確認書兼請求書と会場の地図、宿泊のご案内などをメールにて送付いたします。10日以内に参加費などをお振り込みいただくことで申込が完了となります。

※10人以上の参加申込をする組織は、実行委員会事務局(luc@zenroren.gr.jp)にお問い合わせください。団体申込用フォームを送付いたします。



全労連HPからも  
申込できます  
検索ワード  
「レバカレ2025」

## 申込メ切

2025年9月30日(火)

※但し、宿泊受付は9月12日(金)終了とさせていただきます

## 託児利用について

会場内に託児室を設けます。

対象は小学生以下のお子さんです。利用する場合は事前にご連絡ください。

Tel : 03-5842-5611

(レバカレ実行委員会まで)

託児が必要ないお子さんは、保護者と一緒に集会に参加していただけます。



## レバカレ公式SNS

公式アカウントに登録して最新情報をチェック!



LINE



Instagram



## ポッドキャストで直前企画を配信します



隔週金曜日に配信

▶9月5日、9月19日、10月3日

聞きたいときに聞けるインターネット版ラジオです。「ぜんろうれんラジオ」で検索してください。

SpotifyまたはYouTubeポッドキャストで聞くことができます。

レバカレ2025  
オリジナルグッズ

## 缶バッジ 2種類

レバカレロゴ

全労連ロゴ



直径32mm

財政活動や参加者の組織に役立てていただくために、レバカレ2025のオリジナルグッズの取り扱い(あっせん)を開始しました。在庫限りですので、お気軽にお問合せください。

※注文・発送・請求は

(株)かんきょうムーブが対応します。

詳細は右のQRコード、または「レバカレ2025」で検索して全労連HPレバカレ特設ページをご確認ください。



## 東アジア・レイバーフェス

日にち：2025年10月3日(金)  
～10月11日(土)

会場：上智大学(四谷キャンパス、東京都千代田区紀尾井町7-1)

JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線／四ツ谷駅 麹町口・赤坂口から徒歩3分

共催：東アジア・レイバーフェス実行委員会、上智大学グローバル・コンサーン研究所、台湾国際労働者協会、レイバー・ノーツ、台湾派遣労働組合、アジア・レイバー・レビュー

レバカレ2025では、  
東アジア・レイバーフェスに連動した分科会が運営されます

日本、香港、韓国、台湾、中国、アメリカから集まった個人で構成された実行委員会が企画運営を担う東アジア・レイバーフェスが、2025年10月3日(金)～10月11日(土)都内で開催されます。全労連も運営に関わり、参加を呼び掛けています。

東アジア・レイバーフェスでは「労働(レイバー)」というレンズを通して、働く者がともに立ち上がり、どんな運動を展開して権利を勝ち取ってきたのかを振り返り、現在進行形でたたかう労働者のストーリーを紹介します。一方的に話を聞くだけの会議ではなく、東アジアの労働者たちとさまざまな形式でともに学び合い、水平的な議論と交流をする場です。

## 誰でも参加できます

- 民主主義の危機を東アジアの仲間と一緒に乗り越えたい
  - アジア(中国、香港、台湾、韓国、日本など)のユニオンや歴史に関心がある
  - 職場の問題を解決したいと思っている
  - 多くの働く人とながりたいと思っている
- など、企画内容に関心があれば労働組合関係者はもちろん、学生や家庭の中でも外でも働いている人、研究者など全員が参加対象です!



詳細は、全労連HPをご確認ください